

車座集会「みんなの尼活皆議」

～西大島ふれあいサロンに来られたみなさまと～

2026.8.4

－“あまがさき”を次のステージに！－

【５つの柱】

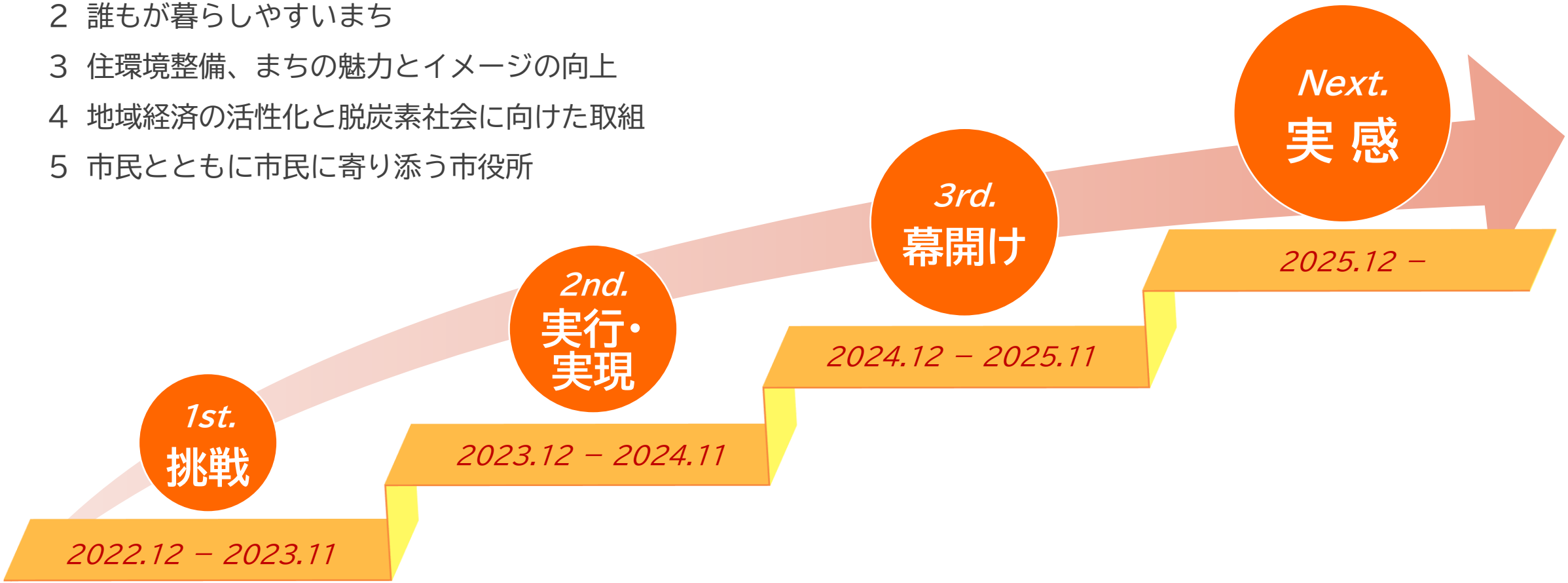
１「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき

２ 誰もが暮らしやすいまち

３ 住環境整備、まちの魅力とイメージの向上

４ 地域経済の活性化と脱炭素社会に向けた取組

５ 市民とともに市民に寄り添う市役所



「実行力」、「対話重視」、「誰一人取り残さない」

尼崎の人口動態　～ 人口増加都市に ～



H30年に「本当に住みやすい街大賞in関西」で1位になるなど「選ばれるまち」へ

社会増の傾向が継続
H28-R2まで5年連続
R4-R7の4年連続

R7は
人口全体でも
500人増

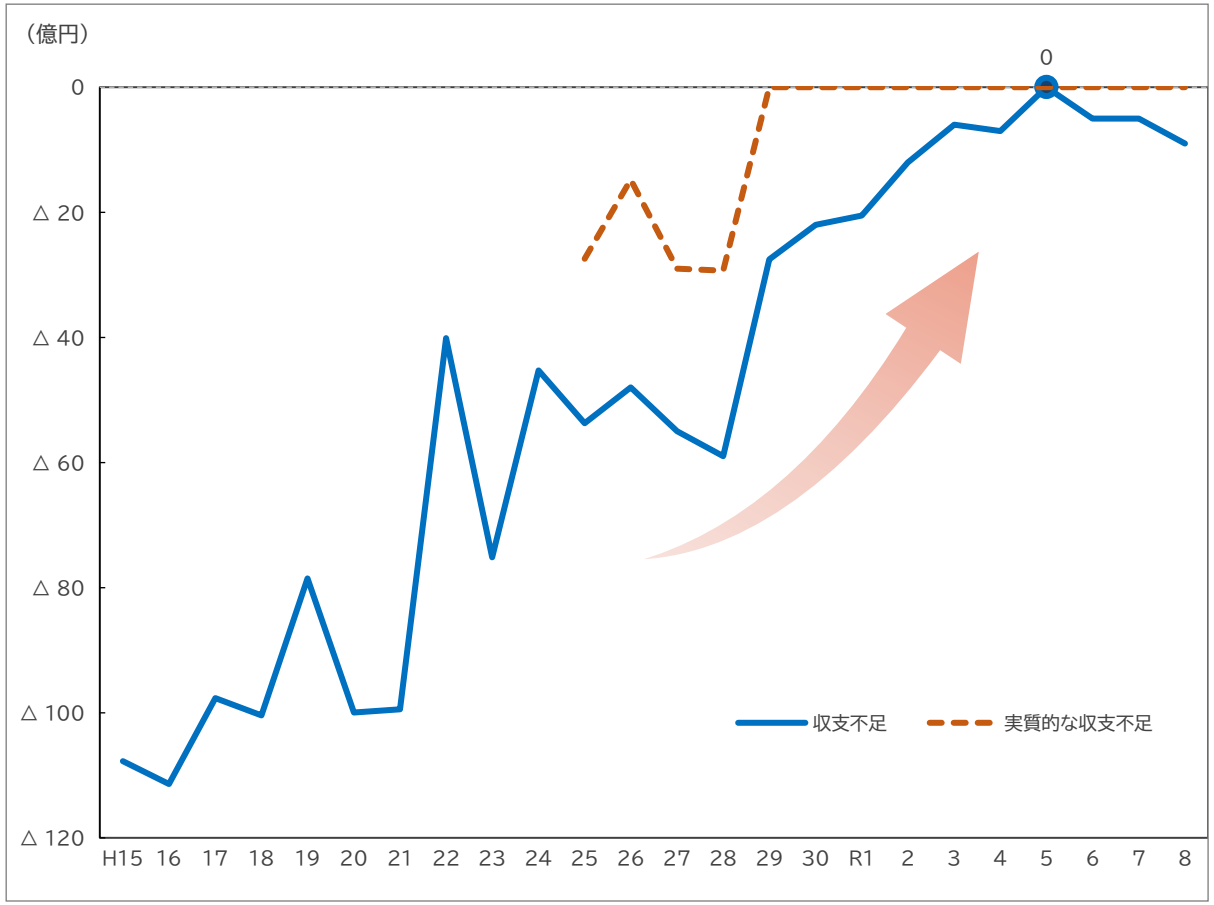
（人）
13,500
11,000
8,500
6,000
3,500
1,000
△ 1,500
△ 4,000
△ 6,500
△ 9,000
△ 11,500
△ 14,000

S39 S40 S41 S42 S43 S44 S45 S46 S47 S48 S49 S50 S51 S52 S53 S54 S55 S56 S57 S58 S59 S60 S61 S62 S63 H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7

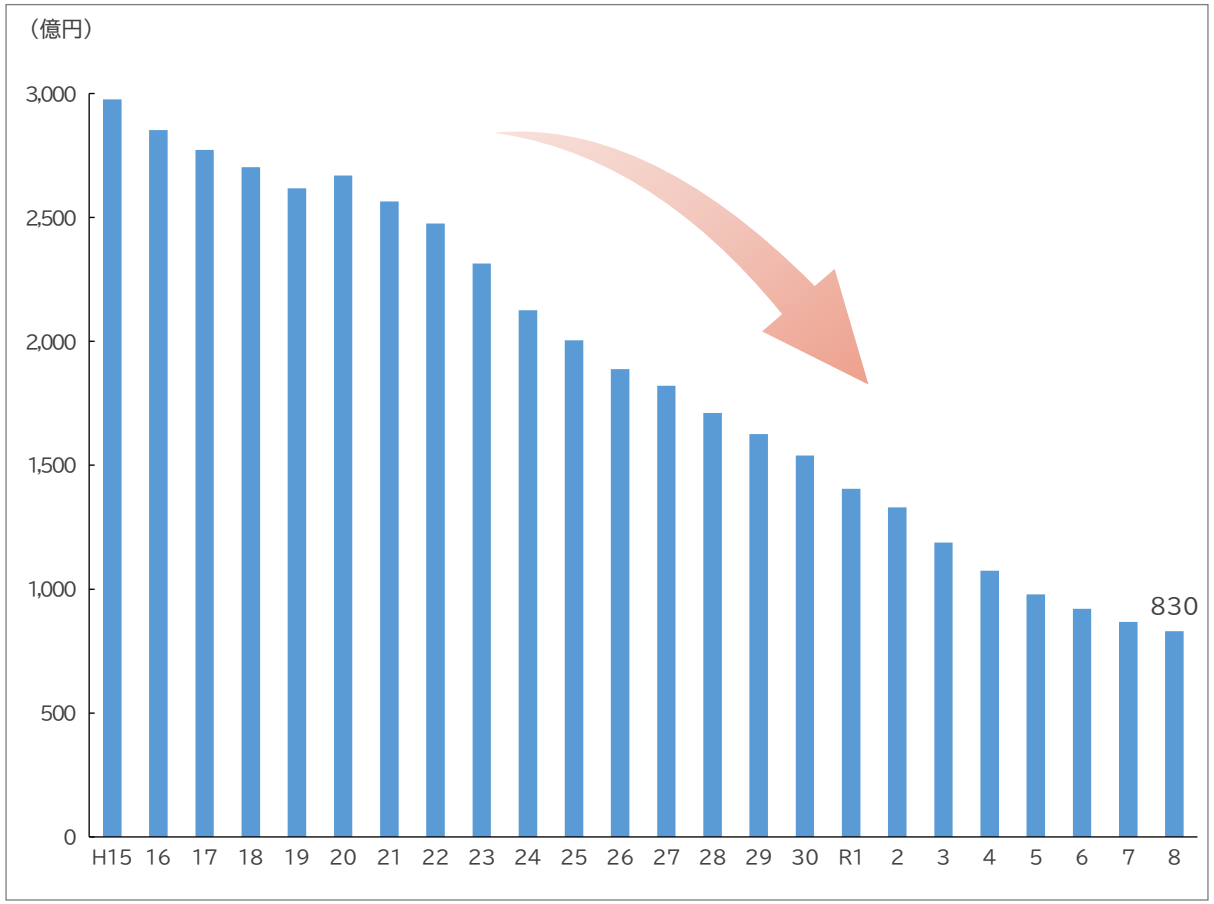
自然増減　社会増減　合計

尼崎の財政状況：収支・将来負担

当初予算編成時における収支不足額の推移



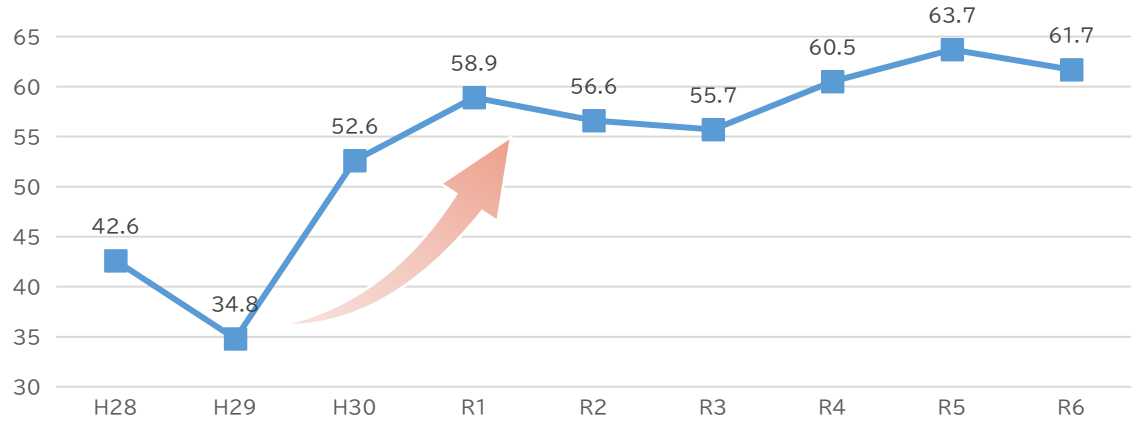
目標管理対象将来負担の推移



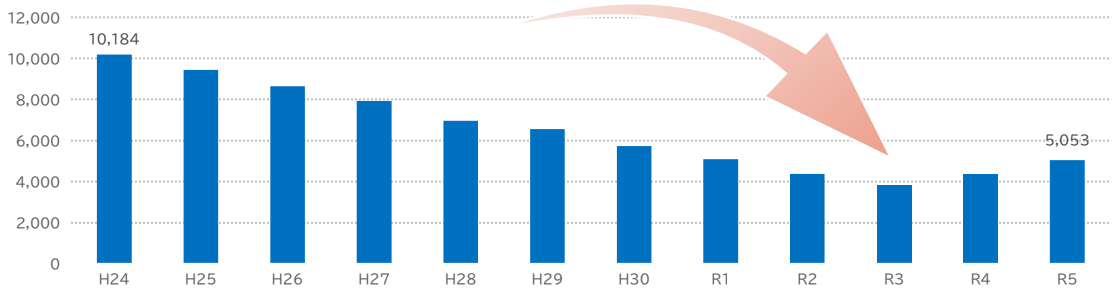
（～R6:決算、R7～:見込み）

まちのイメージも改善

尼崎市のイメージが良くなったと回答した市民の割合



刑法犯認知件数の推移



神戸新聞NEXT

★サービス・事業　朝刊・夕刊　Myニュース

トップ　新着　地域　社会　事件・事故　経済　スポーツ　カルチャー　教育・子育て　医療　連載

神戸新聞ホーム › 社会

暴力団事務所、市内全域で禁止　全国初　昨年９月以降ゼロの尼崎市が条例改正案

2023/11/29 20:05

印刷

社会　阪神　山口組分裂騒動　地方行政



尼崎市役所＝尼崎市東七松町１



昨年９月に暴力団事務所がゼロになった兵庫県尼崎市で、工業地域などを含む市内全域で暴力団事務所の運営を禁止する暴力団排除条例改正案がまとまった。県条例と同程度の罰則を設ける方針で、市町村としては全国初という。１２月１８日から市民に意見を公募し、来年２月の市議会定例会への条例改正案提出を目指す。

県の条例では、都市計画法上の「住居地域」「商業地域」「近隣商業地域」への暴力団事務所進出を禁止しているが「準工業、工業、工業専用地域」は対象外となっている。工都として発展してきた尼崎市は、準工業、工業、工業専用地域が市域の約３分の１を占めるため、事務所進出が懸念されていた。

市は今年４月、市民、弁護士、警察関係者らによる「市暴力団排除活動推進会議」を設置。実効性の高い施策の検討を重ね、条例改正案をまとめた。

- 刑法犯認知件数半減など、過去に語られた「治安」の話題もそろそろ“時代遅れ”
- 市民の「実感」としても良くなってきたと表れてきている

まちなみも大きく変化

公共空間の有効活用や官民連携を意識した投資の実施

～ 今後の人口減少に合わせて公共床総量のスリム化を図りながらも、集客性の強いエリアにはしっかり投資 ～

➢ 公園の再整備


大物公園


ゼロカーボンベースボールパーク
（小田南公園）


中央公園

➢ 休日夜間診療所の移転



➢ オープンイノベーション拠点「ARKade」の開設



まちなみも大きく変化　～更なる成長に向けた投資～

阪急塚口駅前



順次供用開始

阪急園田駅前



R8供用開始

（仮称）武庫川周辺阪急新駅



R14完成予定

阪急電鉄提供

大物川緑地

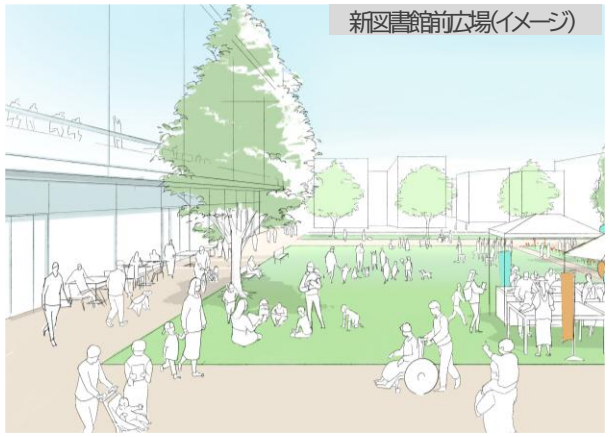


順次供用開始

新図書館



R11供用開始



安心・安全に暮らせるまちづくり

➢ 旧かんなみ地域の環境改善

- 土地建物を取得し更地にして売却する計画を進行中
- 一区画まとまって取得できた建物については解体



➢ 地域防犯カメラ設置補助の大幅拡充

- 「安心感」のある地域社会の実現に向け、地域防犯カメラの設置に要する地域負担を実質ゼロに

現　行
上限 12万 円 × 23 団体
拡充後
上限 **20万** 円 × **40** 団体



➢ 空き家対策の更なる強化

- 空き家等の相続登記促進に加え、「所有者不明空き家等」に対する取組を強化
- 弁護士等も含めた「所有者不明対策チーム」を発足し、財産管理制度を活用し、所有者不明空き家等の解消を推進



安心・安全に暮らせるまちづくり

➢ えきまえアップデートプロジェクト

- 駅周辺の公共サインのリニューアル
  （R8：デザイン基準の策定）
- 駅周辺を中心とした公共空間の維持管理の高質化・美装化



☞ JR尼崎駅前やJR立花駅前においてデッキの美装化や植栽帯設備改修などを実施

➢ カラス除けボックスの貸与

- ごみの排出方法に関する指導等にあわせて、カラス除けボックスを一時的に貸与



➢ 「美しい街路・公園」の実現に向けた取組の推進

- 街路樹の適正な配置に向けた考え方を整理し、「快適な街路樹づくり」による良好な景観を創出

☞ 街路樹の総量を見直し、路線ごとに優先順位を付けながら対応方針を策定

- 道路、公園の除草頻度等の増加

☞ 年2回から年3回へ！



「生きがい」を感じられるまちづくり

➢ 武庫健康ふれあい体育館





➢ AIオンデマンド型交通

路線バスの利便性低下の影響が大きい園田地域において、AIオンデマンド型交通により市民の移動手段を補完することの有用性を検証するため、期間を限定し実証運行を実施

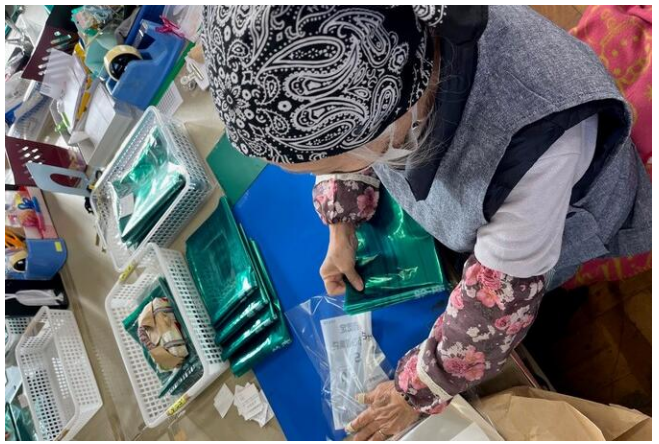


➢ いきいき百歳体操





➢ 高齢者いきがい就労事業





若い世代を応援　～「働く」も「子育て」も応援するまちづくり～

➢ 子どもの医療費助成の負担軽減

- 助成対象を18歳(高校生)まで拡充
- 小学1年生～中学3年生の一部自己負担額を軽減

令和７年７月～		
低所得者	所得割額 23万5千円未満	所得割額 23万5千円以上
自己負担なし	**800 円**	**800 円**
自己負担なし	400 円	**400 円**
自己負担なし	自己負担なし	自己負担なし

➢ 学校給食費の大幅な負担軽減

- 小学校給食費負担ゼロ、中学校給食費半額へ

項目	令和7年度	物価高騰を反映		令和8年度
小学校	1食256円 (月額4,300円)	1食312円 (月額5,200円)	全 額 公費負担	**負担なし**
中学校	1食310円 (月額5,200円)	1食362円 (月額6,100円)	半 額 公費負担	1食181円 **(月額3,000円)**

➢ 保育料の引き下げ

- 阪神間他都市と比較して高額となっている保育料区分の利用者負担を軽減

階層	従前負担額	軽減後負担額
D10	月額93,600円	月額**76,100**円
D9	月額72,000円	月額**65,500**円

※所得に応じて保育料区分を設定（A,B1,B2,C1,C2,D1～D10階層）
※D8階層以下の保育料は、これまでに見直しを実施

➢ 児童ホームの機能強化

- 開所時間を午後7時まで延長
- 学校長期休業期間中の児童ホーム等への昼食配送

児童ホームでの延長育成の様子



若い世代を応援　～「働く」も「子育て」も応援するまちづくり～

➢ 児童相談所の開設

- 課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に対して、切れ目のない一貫した支援の実現を目指す


子どもの育ち支援センター新館
2026.4 Open!!

➢ 学びの多様化学校の開校

- 不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施することができる


尼崎琴葉中学校
2026.4 Open!!

➢ 阪神尼崎ユースセンター「hygge（ヒュッゲ）」

- 主に尼崎市南部地域の小学生、中学生及び高校生を中心としたこども・若者を対象として居場所を提供





➢ 学校体育館空調整備

- 体育活動や部活動等における熱中症予防や、災害時の避難所環境の向上に向けて、計画的に学校体育館にエアコンを設置

